

■トワ シク1

- 1
2
3 【皇室内で問題児扱いされてるレイモンド。困り果てた皇帝は、隣国で
4 貴族の子息たちから高い評価を得ている教育係を呼び寄せること】
5
6 ダラク⑨
- 7 大臣 「皇帝陛下、恐れながら…」
- 8 皇帝 「よー。お前が『わんこ』じゃねえかわかつてー。
- 9 (戻へゆくへつと溜息) また…また、あやつか」
- 10 大臣 「さー、レイモンド様に」わこます。詳細はお聞きになれますか」
- 11 皇帝 「こひぬ。執事長に暴言を吐いたり、町娘に手を出したり、メイドを泣かせたり、
12 おおむねいのもじ変わらぬのだらう」
- 13 大臣 「は…。もう使用人一同、手に負えない申しております」
- 14 皇帝 「(深く溜息) もうしたものか…」
- 15 大臣 「なんとか皇室内部で問題をもみ消してはおりますが、
16 いつか表沙汰になる可能性も」わこます」
- 17 皇帝 「うむ……」
- 18 大臣 「皇帝陛下。リハは、新しい教育係を雇つてみてはいかがでしょーか」
- 19 皇帝 「しかし、使用人も皆匙を投げておるのだらう。
- 20 今更、新しい者を雇つたといひで変わるとも思えなーが?」
- 21 大臣 「隣国に、上流階級の子息を一手に引き受ける
22 非常に優秀な女性がいるとの情報が入つております。
23 素行不良だった子息も彼女の指導を受けて、かなり態度を改めたとか。
24 一度彼女に任せた上で、そこからレイモンド様の処遇について
25 „判断されてるよのしこのではないでしょーか』
26 皇帝 「……そ、だな。おそらく無駄ではあると思うが。

1

では、彼女を早急に呼び寄せなさい。できるだけ早く」

大臣「はっ」

2 3

2

■トワ シク2

- 1
2
3 【教育係としてやつてきたあなた。レイモンドの部屋に入らうとするが、
4 何やら部屋の中から怒号が聞こえる】
5
6 **ダッシュ⑩**
7 レイモンド「…使用人の分際で、」の俺にたてつく気が…」の役立たずが！
8 ああもういい、顔を見ぬだけでも気が滅入る…」
9 執事「わ、申し訳」せこせん、レイモンド様…！」
10
11 //ノック
12
13 レイモンド「入れー！」
14
15 //部屋に入るあなた。執事、部屋から逃げ出すように出て行く。
16 レイモンド、あなたの側く。「そりゃの方は？」
17
18 レイモンド「ああ、いい、あの男は放つておけ」
19
20 **ダッシュ⑨**
21 レイモンド「わい…といふでお前は一体誰だ？」
22
23 //あなた、自己紹介する
24
25 レイモンド「ああ、話には聞いている。新しい教育係が来るの。
26 やつん……そつか、お前が…ねえ。ふ、まあい。

俺はレイモンド・エル・アルナヴァル。アルナヴァル帝国第二皇子だ

2

三
＝＝＝イモ＝ド、あなた手を差し出せ

レインモンド 「（愛想よく）あつ。なんだ？初対面なんだから、

握手の一つくらいするものだろう。身分なんて関係ない。ほら、手を出して

∞
――あなた、手を差し出す。レイモンド、後ろ手に持っていた水差しを

あなたの頭にぶつかける

レイモンド「……っ、ああ、あああ、はははははっ！あはははははっ！」

悪いな、無言で何んでいるものだから

花か何かと勘違いして水をやってしまつた！

あははあー！ はあー！ おかしい……すつ（笑いすぎて少し泣いている感じで）

リイモントの方をじっと見つめる

「ニシテ笑ひて」かんがえ
表しきのが、それくわ
惜しいが、

九月廿二日
北向
晴

24
ノルマの下に於ける日本文化

アリのやや上から (ヒロインがしゃがむため)

1 レイモンド「お前、人が話してくる途中だぞ、何をして…」

2

3 ///片付け終わつたあなた、これで大丈夫かとレイモンドに聞く

4

5 ダラク⑨ 高畠田面に戻る

6 レイモンド「いや、いいも何も…確かに片付いてはいるが、

7 俺が話している途中だぞ、手を止め…！」

8

9 ///あなた「問題ないのならよかっただ」教材を机の上に並べだす

10

11 レイモンド「待て、何だい」の本は…政治学の教本？これは…貿易理論？

12 はつ、お前、女のくせにこんな勉強を齧つていいのか？」

13

14 ///レイモンド、椅子へふらふらとしぶ座る

15

16 ダラク⑩

17 レイモンド「…、…まだね、せこせこ」軽説を垂れてみる」

18

19

20

21 ///あなた、数時間レイモンドを拘束して勉強を教える。

22 日が暮れる頃、レイモンドがうんざりした声を漏らし

23

24 レイモンド「…お…。おひこ…、日が暮れてしまつた。

25 長々と退屈な授業だったな。黙つて聞いてやつたが、俺はいの程度

26 もう一度のふうに頭に入つていい。底が知れるな…（畠葉を切る）」

1

///あなた「では次はより高度な物を」 淡々と部屋を後にする

2

3

4

ダニク⑩

レイモンド「…あ？ 次は、より高度な物を…？ 待て、お前！ おい！

（困惑した感じで）…はつ、なんつ、なんなんだ、あいつは……？」

5

6

7

■トーフ シク 3

1 【勉強の時間になつたにも関わらず、自室に姿を見せないレイモンド。】

2 レイモンド「…わへ、本当に鬱陶しい奴だなお前は…。」

3 教育係は城の真裏にある小さな花畠で彼を見つかる】

4

5 ///あなた、レイモンドを見つけ声を掛ける

6

7 **ダリル⁽¹⁶⁾**

8 レイモンド「…わへ、本当に鬱陶しい奴だなお前は…。」

9 今まで誰にも見つからなかつたのに…。

10 ああ、ああ、わかつたよー 勉強の時間なんだろ、戻るよすぐ。 つたぐ…】

11

12 ///あなた「こいつはサボッていらんですか?」

13

14 レイモンド「わうだよ、役立たずの使用人には教えたくないくらいには、

15 良いサボり場や。綺麗だ。城の真裏だが小さな花畠みたいになつていて、

16 風も心地よくて、静かで…】

17

18 ///レイモンド、その場に立ちながら土を搔き分ける。あなたもその横に座り込む。

19 「何があるんですか?」

20

21 **ダリル⁽¹⁵⁾**

22 レイモンド「…………」は母上が、眠つてゐるやうだよ。誰も来やしないから】

23

24 ///あなた「誰か?」

25

26 レイモンド「わへ、俺以外は誰も。皇帝陛下も、兄上も、使用人たちも、誰も来ない」

2

۷۷

卷之三

三 あなた「第一皇子は靠うのですか?」

レイモンド「兄上の生まれか？」あの方は皇帝とその正妻との間の子だ。

俺なんか足元にも及ばないくらいに高貴なご身分さ。

おつむは死ぬほど弱いがな」

11

あなた　お母さまは、どなただつたんですか？」

۷

レイモンド一母上は…（言いよどんでから呟く）チツ…無遠慮は聞いてくるな

母上はたゞ身分が低くて諂よりも聰明で高潔なお方たつた

とても教育熱心たてだし
身分の差を実力で埋めよ」と

努力されていたのを見て、俺は見ていた

ナガシマの事は、おまかせだ。おまかせだ。

あ
・
ナ
・
セ
石
力
い
あ
・
ナ
・
セ
一
・
セ

卷之三

レイモント一でも俺は残念ながら正真正銘の馬鹿たつたらしい

皇室の奴らは能力も努力も見せやしないくてことは全く気が付けなかつた

……(暗くよろに)母上か
こんなとこで人に

墓石もなく埋められているのが、何よりの証拠だろ？」

1 ///うずくまるレイモンド。

2 あなた「レイモンド様…? 大丈夫ですか…?」

3

4 レイモンド「はあ… (苛立つ小さな溜め息)

5 大丈夫じゃない。いらん」とを話したせいで気分が悪い。

6 わう今日は勉強しない」

7

8 ///あなた「それといれとは話が別ですよ」

9 レイモンドの腕を掴んで引っ張っていく。

10

11 **ダニエル⑭**

12 レイモンド「おいっ、引っ張るな! それといれとは話が別じゃないんだよ、おい!

13 伸びる伸びる、裾が伸びるだろうが、馬鹿…! (フヨードアウト)」

14

■トワ シク4

【女遊びが激しいレイモンド。】

ある日の午後、出かけるので服を見繕えとあなたへ指図する】

- 1 ダマシ⑨
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7 レイモンド「…ああ、こことこに来たな。
- 8 今夜は女と出かけるから、服を見繕え」
- 9
- 10 ///あなた「今日の課題、終えられたんですか？」
- 11
- 12 レイモンド「今日の分の課題か…? ほん」
- 13
- 14 ///レイモンド、あなたに紙の束を手渡す。
- 15 「あなた「何」れは?」
- 16
- 17 レイモンド「今週分の課題だ。大体それくらいだら、いつも。
- 18 (イライラして)ああーむへ、ふいふと服を見繕えってばー!
- 19 俺は今から湯を浴びるから、それまでに間に合わせて脱衣所に持つやう。
- 20 遅れたら許さないからな。あと、戸棚の3段目に入ってる香水もだ。
- 21 小さくて淡い青色の小瓶だからな。間違えるなよー。」
- 22
- 23 ///レイモンド、部屋から出てこく。あなた慌ててこくか服装を見繕い、浴場へ。
- 24 レイモンド脱衣所の外からあなたに向かって叫ぶ。
- 25
- 26 ダマシ⑩

1 レイモンド「ののせー、おつせー、服は？」

2

3 //あなた「さー、ただいま」そのまま男性用の脱衣所に入る

4 レイモンドほぼ裸の状態で鉢合わせ

5

6 **ダマシ⑨**

7 レイモンド「(驚き)は軽めで。慣れてる感じで)うわ、びっくりした。

8 一応、男性用の脱衣所だが、ノル。何のためにもなく入ってく奴があるか。

9 まあ、別に見られて減るものもないからいいかど…。

10 じゃあ、入って来たついでに、体でも拭いてやるね。ほら」

11

12 //あなた、レイモンドの体をタオルで拭く。

13 「失礼します」

14

15 **ダマシ⑩ ダマシに背を向けて**

16 レイモンド「待て、頭から拭け。背中がまた濡れるだろ?」

17 やつ、やつ…。ああ、ああ、ああ、ガシガシするな、髪が傷む…」

18

19 //レイモンド振り返る

20 **ダマシ⑨ ダマシに回を直す**

21 レイモンド「前々から聞いたが、お前、俺のノルを鼻水垂らしたガキ!」

22 同じ扱いをしてやしないか?!

23 隣国で担当してたのは、おしゃぶり呑めた赤ん坊だったのか?」

24

25 レイモンド「(苦笑)た溜め息) うはあ…、

26 ……(悪だくみ) …ああ…。」

1

///イヤヤンド、あなたを脱衣所の壁に壁ドンする。

2

イヤヤンド「(コントーン)抑えて低めの声で)……見へ。

3

お前の田の前にいるのは、男だぞ」

4

ダマシ②

///イヤヤンド、あなたの手を取つて体に触れさせる。

5

イヤヤンド「せひ…、俺の手の動きに合わせて、触れてみる。

6

…」の國の民は、十五で成人する。誰も彼もみな、たゞえ心が

迫いつかなくとも体は変わつていぐ。俺だつてそっや。

7

10 ヤヤヤンド「せひ…、俺の手の動きに合わせて、触れてみる。

11 お前がいくら教育係だからと言つて偉そうに俺に指図をして、ようつが、

12 内側に宿つてる熱も…。何もかも、お前と違う。

13 体の曲線も、筋肉の付き方も、握つた手首の太さも、

14 今、ハリハリしているのは、一人の男と、女だ」

15

16 17

18 19

20

21 22

22 23

23 24

24 25

25

12

///あなた「ほんない」として、待たせている方に対して不義理だとは思われないのです

か~」

か~」

イヤヤンド「他の女を待たせて、こんな事をしているのは不義理だよ?」

あいつらだつて不義理な奴や。

俺には愛も義理も求めていない。欲しいのは、金よ…」

26

///イヤヤンド、あなたの手首をつかみ、局部に無理やり触らせよ~とする。

1 ダリく③

2 レイヤー「(咲)ほんの、快樂だなー」

3

4 ///あなた、抵抗し、レイヤーの頬を舐へ。

5

6 ダリく①

7 レイヤー「シッ……は、主の頬を舐へは。

8 (半笑い)……お前は、愛をお望み?」

9

10 ///あなた「愛をお望みなのは、あなたのほうではないですか?」

11

12 レイヤー「俺のせうが、愛を望んでるだい。(えやくら)…はは、あはは、

13 面目こりふを舐つた、お前。じゃあ教えてやへい」

14

15 ///レイヤー、あなたにキス(軽め)。

16

17 レイヤー「……俺が女を選ぶ条件は愛じゃない。欲とタイミングだよ」

18

19 ///あなた、レイヤーを押し倒し、レイパーをキスする。(次のレイヤーの口説途中で、

20 おやじの匂このかの歯がいたまゆ)

21

22 レイヤー「えぬい! ん…い、ん…は…あ、ん…い、

23 (ガツンと歯を噛む) こひげー、こ……い、てめ…お前…」

24

25 ///あなた「えいわんのタイミングが合わなかつたようですね」

26

1 ダムク⑯

2 レイモンド「(声くようじ)タイミング、合わなかつたじやなへて、

3 わがむ合わせなかつたんだろ…。お前、良い性格してやがるな、本当に…」

4 もひここ、下がれ!」

5

6 ///あなた、服や香水の瓶を放り投げて、脱衣所から出でいく

7 「やは私は」れで失礼いたします」

8 レイモンド、取り残され、壁を思いつきり叩く。

9

10 レイモンド「(叫び声)あの女、絶ひつゝ対、泣かす…」

11

■トワシク⑮

- 1
2
3 【その後もあなたに対し嫌がらせを続けるレイモンド。しかし、全くいたえないあなたに対
4 し、徐々に怒りが募っていく。そんな折に、メイドと執事の会話を聞きつける】
5
- 6 ダマク⑩
- 7 レイモンド「…わっ、勉強はいい。疲れた。机の上、全て片付けておけ。
8 …ルルのじお前、ハの間違っていた宝石は取り寄せたんだね？」
9
- 10 ///あなた、机の上に宝石を出す。
11
- 12 レイモンド「むへ、いろんな粗末なもので、満足すると思つのか？」
13 やつすい光り方…。
- 14 「」れで、あの町娘を落としそ」なつたら、お前が責任を取れよ。
15 俺が金をちらつかせながら、あいつの中身のない薄一い会話に
16 辛抱強く付き合つてやつた苦労を、お前が台無しにするんだから…な…」
17
- 18 ///あなた、机の上に宝石を何個も並べ始める。
19
- 20 レイモンド「へへへ、わかつた、わづこー。わかつたから、
21 ある分だけ宝石を出したら、ふいふと出て行け！」
22
- 23 ///あなた、部屋から出て行く
24
- 25 ///庭を散歩しているレイモンド
26 ダマク⑪

レイモンド「あいつ…何をやつても全く動じやしない。

エリオート無茶を言つても涼しい顔で」なしてへる」、

俺が『ひつゝ』にほんわに取り合おうともしない。

チツ…生意気な…生意気な奴め。無能な奴よりも余計に腹が立つ。

何ヒントでも、あいつを蹴落としたいが…エリオートしたものか…」

7

///メイドと執事が話し込んでここのを見つけたレイモンド、思わず隠れる。

8

レイモンド「(独り言を囁く) 『…、誰だ…?』

9

ダブル メイド⑨、執事⑩、レイモンド⑪

メイド「新しく来られた教育係の方、どう?

レイモンド様にひどい目に遭わされてやしないかしら? 私、心配ですね…」

15

執事「こやあ、何度か挨拶してみたが意外と応えてなやうだよ、よく頑張つてね」

17

メイド「やれならいいんだだけ…」

兄上様はとつとも優しい方なのに、やつぱり血筋なのがしらねえ」

20

執事「まあ、あの方の母親は町人よりも下級の卑しい出だつたからな、仕方ないだろう」

22

メイド「(溜め息) はあ…教育係の方が切り札のつもりなのかしら?」

陛下が尽力されたつて、きっと変わらないわよ」

24

執事「しかし、あの教育係、相当優秀だと聞くだ。

25

1 教育係として働く前は、吟遊詩人だろ、武器職人だろ。

2 薬商人に、踊り子、バーテンダー…とにかく色々な仕事についていたと

3 メイモンド「(サノローグ) 何してるんだ、あいつは…?」

4 メイモンド「(サノローグ) 何してるんだ、あいつは…?」

5

6 メイド 「えいえい、教育係の仕事が終わつた後、使用人たちの手伝いもしていいわね。メイド長が褒めていたわ。

7 旦を離したら全部の部屋のベッドメイク終わらせてたって」

8

9 執事 「料理人に新メニューのレンジピを渡したついでに、

10 全員分の賄いも作つてたらしいや。

11 庭師と一緒に剪定していたといふのも見たな」

12

13 メイサンド「(サノローグ) 本当に何してるんだ、あいつは!?

14

15 メイド 「えいえい、そういういえばね。」の前、教育係さんが…」

16

17 メイサンド「(サノローグ) …、なんだ…?」

18

19 メイモンド「(サノローグ) …、なんだ…?」

20

1 【翌日、勉強を中断して椅子にふんぞり返るレイモンズ】

2

3 ダッシュ⑩

4 レイモンズ「ねこ、それから休憩でここだの。」

5 喘が渴いた。何か飲む物をノハク持つヤハニ。

6 料理長には手伝つてもいいなよ。俺はあいつが嫌いだし、

あいつの料理は口に合わない。あと一冷たい水なんか持つてきてみる。

7 初日みたいに頭からかけてやるからな。ほひ、早く行けー。」

8

9

10 ///あなた、部屋から出で行く。

11

12 ダッシュ⑫

13 レイモンズ「行つたか？」

14

15 ///レイモンズ、机の上にある懐中時計を手に取る

16

17 レイモンズ「これか…。使用人たちが話していた懐中時計は。…随分と古臭いな。

18 あいつがなぜいんなガラクタを大事にしているのか、

19 やりぱりねからないが…まあいい。もう壊してしまったから関係ない」

20

21 ///レイモンズ、懐中時計に向かってハンマーを振り下ろす。

22

23 レイモンズ「(だんだん語尾を荒げて)…ふー、ふそー、ふそーー。」

24 あいつがひ、悪いんだひ、自分が評価やれいやつかひひひ

25 余裕そうな顔しやはがひひひ…」

26

- 1 ///ルーベンズ、最後の一振り
- 2
- 3 ルーベンズ「俺を、呪下しやがいで。」
- 4
- 5 ///懐中時計、完全に壊れる
- 6
- 7 ルーベンズ「(皿を整えながら)はあい、はあい、はあい……。」
- 8 「こ、ムシのむしも、やつだつた……」
- 9
- 10 ///あなた、部屋に入つてく。懐中時計を見て、あなたの表情が凍りつく。
- 11 あなた「ルイキンズ様が、壊したのですか?」
- 12
- 13 ダリ^⑩
- 14 ルイキンズ「(半笑い)……はい、遅かつたな。見ればわかるだら、壊した」となんて」¹⁹
- 15
- 16 ///あなた「えいへーーー。」
- 17
- 18 ルイキンズ「えいへーーー。エーハントもいハントもなー。」
- 19 お前が飲み物を持つてくのがあまりに遅いもんだから、
- 20 馬鹿で遊んでたら壊れた。それだけや」
- 21
- 22 ///ルーベンズ、あなたに近づき頬をつかむ。
- 23
- 24 ダリ^⑪
- 25 ルーベンズ「ああ、その面、見たかったぜ。いつもの澄まし顔はいらした?俺に何を聞かねばいいか、エスナリードをやるのもいいか、
- 26

1 動じなかつたお前が、なあ。こまや、じょうだ。

2 眉間に皺を寄せて、俺の事をじつと睨みつけ…。

3 悔しいなあ、俺の」とが憎いよなあ！

4 だが、いつまでもガラクタを捨てないお前が悪いんだ」

5

6 ///あなた「ガラクタじやありません…」

7

8 レイモンド「俺がガラクタだと悟いたらガラクタなんだ、黙れ…」

9

10 ///あなた、押し黙る。レイモンドはあなたが持つて來たお茶を飲む。

11

12 **ダリック⑩**

13 レイモンド「(飲む音)んぐの…」へい…はあ。

14 …はは、ははは、ははははは、あははははははは！

15 ああ、酷くいい氣分だ。

16 何度も何度も主に歯向かつて、不敬な奴め。

17 わつー一度と口の皿を見れないようにしてやつうか？

18 やれども、嘘の罪状をでつち上げて首を跳ねてやつうか？

19 えいしてほしー？ 最後に俺を喜ばせた褒美だ。

20 特別に、お前に、えい、ば、せ、…あ？」

21

22 ///レイモンド倒れる。

23

24 **ダリック②**

25 レイモンド「おお、え、なにを…した…おこ、いたれ、る…おこ…」

26

//レイモンド、意識を失う。

■ テーマ シク 6

【田舎で意識を失ったあと、地下牢へ連れていかれたレイヤン。意識を取り戻す】

1

2

3

4 ダラク①

5 レイヤン「……ん、ん…。(回転回らな)な、ふ…ん、おれ…あえ…?」

6 「あう、いた、こ…(ぬ、ひこ…?)」

7

8 ///あなた、レイヤンの肩を揺やぐ。

9

10 ダラク②

11 レイヤン「ん、お、おふ…(ハ)」、「う」、「だ」、「う」…」

12

13 ///あなた「地下牢ですよ」

14

15 レイヤン「むかね…。(徐々に意識戻り始める)

16 「おれ、おまえが、もひて来た、のみもの、のんで、そ、それで

17 「…そっだ、たおれたんだ」倒れて、…つ倒れて、それで、ちからうに、

18 「…地下牢に…」

19

20 ///レイヤン、意識が戻る。暴れるが、拘束具で動けない。

21

22 ダラク⑨

23 レイヤン「へ、なん、だ、なんなんだ、(れ…手錠…?)」

24 「…しかも、服まだ、な、なん、なんで俺裸なんだ!」

25 「お前、俺をじつするつもりなんだ、外せ、外せよ…」

26

22

- 1 ///あなた「罪人には、しかるべき処罰を与えるくては」
- 2
- 3 レイモンド「さう! 俺が罪人だと! お前、何を言つてゐるのかわかつてゐるのか? 皇族を地下牢に拘束なんかしたら、お前の方がよっぽど重罪人だぞ!
- 4 首が飛んだつて何の文句も言えやしない。なんだ? 何が目的なんだ? 金か?
- 5 俺を拷問して、一体何がしたいつていうんだ!」
- 6
- 7
- 8 ///あなた「やすからぬかるべく処罰を与え、あなたを教育しなおしたいだけです」
- 9
- 10 レイモンド「…だから、その処罰ってなんなんだ! 俺を教育しなおす? えいへこへんじだ。鞭で打つのか? それとも、腹を殴るのか?
- 11
- 12 やれいわい(途中で言いかけて切つてくだけや)
- 13
- 14 ///あなた、レイモンドの首筋に注射器を刺す
- 15
- 16 ダッシュ⑧
- 17 レイモンド「えぐわーつー…こー、へ…。あ、ぐ、ああ…ひ、やめ、くらさい、
- 18 やめへしゃま、でなにを…やだああ! やめ!-
- 19 ひー、こだあい…ひ、ハグウイ…」
- 20
- 21 ///あなた、注射器を抜いて、針の痕の部分を舐める。
- 22
- 23 ダッシュ⑨
- 24 レイモンド「やめ、やめひ、首筋を舐めるんじゃない! 深みぬ、こー、こー…。
- 25 やめ!、気持ち悪い、気持ち悪い!… あ、あ、やだあ…ひ、
- 26 ん、ん、あー、やめのね…」

- 1 ///あなた、口を離す。
- 2
- 3
- 4 ダリク⑯
- 5 レイヤーナ「(嚙食い)ぱつぱつやーへ、やーへ、やーへ…最ひの底…」
- 6
- 7 ///あなた「身体の具合はいかがですか」
- 8
- 9 レイモンズ「身体の具合? な、まさか、毒を盛ったんじゃないだろ? な、お前!」
- 10
- 11 ///あなた、首を振る。
- 12
- 13 レイモンズ「…違うのか? じゃあ、何を打ったんだ?」
- 14
- 15 ///あなた「そのうちわかる」
- 16
- 17 レイモンズ「そのうちわかるだと…? お前、本当に何が目的なんだ、おい?、答へん、
- 18 俺に近づくんじゃない、答へん! ば! 答へん! て…!」
- 19
- 20 ///あなた、指をレイモンズの皿の前に差し出す。
- 21
- 22 ダリク①
- 23 レイモンズ「せひ…お前、」の俺に指を舐めらじでむ言つつもりか!?
- 24 いやだ、んむ、押し付けるな、んつ、ん、いやだああ…!」
- 25
- 26 ///あなた、レイモンズの前に注射器を出す

1

2 ハヤモンド「へ！やめろ、もう注射器は……わかった、わかったから！」

3 痛めるから… だから、ねつ痛いのはやめてくれ…」

4

5 //ハヤモンド、あなたの指をくわぐる。

6

7 ハヤモンド「ふん…ふい、じゅい、ん、ん…ふい」

8

9 //あなた、指を口の中で動かし始める

10

11 ハヤモンド「あー、ふ…、ふふえ、へ、えあ、へや、んじゅい、

12 んぐううい、せうい、ふんうう…ふはあい」

13

14 //ハヤモンドの口から一旦指抜かれる

15

16 ハヤモンド「はーー、はーー、はーー…。口の中で指を動かすな…、へんぐうい」

17

18 //両口の中に指が入る

19

20 ハヤモンド「あああ、んぐうう、んう…、んつ、んい、んんん…

21 やい…やあ…えうう、舌、しば、挟むな…

22 あー、んんんーー、んうぐ…。んんううい」

23

24 //口からの指抜かれる。

25

26 ダルく②

1 ルイモンド「はへ、う…、う、あ？ あう、あれ…なん、で…？」

2

3 ///あなた「えいやねましたか？」

4

5 ルイモンド「身体、かわだ、あへ…なんだ、りんな…」

6

7 ///あなた「媚薬の効果が出しゃたよっですね」

8

9 ルイモンド「ぢやー、ぢやー、お前、正氣か…？」

10

11 ///あなた「ルハドヤム」

12 ルイモンド、息がどんどん荒くなる

13

14 ルイモンド「せあへ…、せ、はあ…、嫌、だ」

15 あへー、あへー…、「んなのやだ、や、こや、やめ…」

16

17 ///あなた、ルイモンドの乳首を思ってやつてねる

18 「わがまがせばかりはいけませんよ」

19

20 ルイモンド「わわー…、こ、いた、わくわ、いたい…」

21

22 ///あなた、乳首をつねつたまま、「幅へ！」と聞けば、痛くなっちゃふよ」

23

24 ルイモンド「わわー…、幅へ事を聞けば…ってなんだ、

25 もも、俺を脅すつもりか…？」

26

27 ///あなた「さー」

- 1 ルイサン「うううう、いたい……」
- 2 ルイサン「うううう、いたい……」
- 3 ああ、あへ、うへへん、なんでもやへかのあへ、
だかへ、む、わくら、はなし、こたいこへー。」
- 4 だかへ、む、わくら、はなし、こたいこへー。」
- 5
- 6 ///あなた、乳首をつねるのをやめな
- 7
- 8 **ダリル④**
- 9 ルイサン「あへへ。あへ、ああ…あ、あ」
- 10
- 11 ///あなた「それでは、一〇田の課題じゃ」
- 12
- 13 ルイサン「わふわぬの、かだいへ。」
- 14
- 15 ///あなた、乳首の周辺を優しく撫で始める。
- 16 「乳首でイけるようになりましょー」
- 17
- 18 ルイサン「乳首で、イけるよ、だよ……。」
- 19 む、わからぬな、やんなの、絶対にもうだ…やがな…」
- 20
- 21 ///あなた「やがなよ」
- 22
- 23 ルイサン「だかへ、わくら」なー。
- 24 蕉を盛られたついで、乳首なんか、やわらくなー…
- 25
- 26 ///あなた「搾を舐めやられただけで勃起している変態なのよ~。」

1

2 レイモンド「えへ、ぼつ…勃起…？ われが…？」

3 指、舐めただけで…？ うそ、うそだ、そんなの、ちがう、

4 そんなので興奮なんか、してない、嫌だ、変態じやない…」

5

6 ///あなた「変態じやよ」

7 乳首を優しく刺激し始める

8

9 レイモンド「あー、あう。んんうーー、あめ、ちくび、わわるなあー！」

10 わがう、俺は、俺は、へんたいなんかじやない、

11 乳首、触られてもわからんがならない…」

12

13 ///あなた「そんなに気持ちよいやうな顔してるので…」

14

15 レイモンド「わいわいよわいわいな顔なんか…？ してな、あ、んひ。わいわい…」

16

17 レイモンド「(ザーローグ)…おぢい。えいへしょへ、身体が薬のせいで

18 本格的におかしくなり始めてる…。

19 耐えなくては…」この前で、善がってたまるか…？」

20

21 レイモンド「(歯食いしげぬ)んんーー、んぐう、んひ、んんうー」

22

23 ///あなた「我慢せずに声を出した方が楽ですよ」

24

25 レイモンド「まだ、ふひー、声なんか、丑れない…」

26

27 ///あなた、レイモンドの口の中に指を突っ込み、乳首を弄る

1

2 レイモンド「んむうっ!! んへ、んへ。んむう、ふああ。

3 えうへ、うふえああへ。ひ、ひくぢ、こひらみに…やへ、あうえ…のへ」

4

5 ///あなた、レイモンドの口から指を引き抜き、その手で乳首を刺激する。

6

7 レイモンド「んやあ、ぬ、るぬる、するなへ、んんん…」

8

9 ///あなた「あなたの乳首が今どんな状態になつていいか、教えてくだせり」

10

11 ダマシ① 立ち位置そのまま、顔をそむけた

12 レイモンド「あ、あだ、わくび、じんなのかなんて、いいたくな、いはばざかしき…」

13

14 ///あなた、乳首を少しきつめに抓る。

15

16 ダマシ② 正面に向か直る

17 レイモンド「あ、.. いやだ、抓るな、

18 う、細つかひ…。お、おれ、の、わくび。」

19 あ、おれの、だ、えもで、なるなるになつてゐ…」

20

21 ///あなた「おれど…」

22

23 レイモンド「おれど…まだ、細かなきやだめなのか…？」

24

25 ///あなた「私は…」

26

1 レイモン「えへへおひる.. エルベ.. に、やねのせい、ね」

2

3 ///あなた「どんな風に~」

4

5 レイモン「わへ、こへいー.. うへへへ、わなきや、もうせまた抓るんだ。」

6 わがつたよ...。わくら、おれのだれもじぐくの、ゆ、指でくりくりされて、

7 あひ、つめで、かりかりされて、あひあひ、やだ、んんううー！」

8

9 ///あなた「氣持のよくなつてお出したか？」

10

11 **ダマ^① 立ち位置そのままで顔をそむけ**

12 レイモン「だひ、かひ…。あ△ わわわ、くなんか、ない…。」

13

14 ///あなた、強情なレイモンにスパンキング。

15

16 **ダマ^② 正面に回され直る**

17 レイモン「わぐー.. い、いた、やひ...おしり、たたかなこれ..、こわいー。」

18

19 ///あなた「氣持のここので顔こなせ！」

20

21 レイモン「あ、う、わわわここ、わくら、わわわここです~。」

22 わわわここ、わくら、わわわここからあひ、む、きぬして、

23 わやんこ、うかのあひ...。」

24

25 ///あなた、スパンキングを止めて乳首を再び刺激し始める。

26

1 ダマ'く②

2 ルイちゃん 「(眞理恵めに)あー、あ、はあい……♡」

3

4 ///あなた 「眞理恵めに)あー、あ、はあい……♡」

5

6 ルイちゃん 「(口唇皺じがちに) ん、んへ、やわらこ、わくら、
やわらこ……あー、あー♡」

7

8
9 ダマ'く①

10 ルイちゃん 「(舌へローグ) 畏こたぐないのに、いんなりふむ畏こたぐなしのに…。

11

だんだん、頭の中がやわらかいで、身体の真ん中が、ずくずくする…♡」

12

13 ダマ'く②

14 ルイちゃん 「せー♡ あ、あ、へへ、ん♡ んへ、ひ、ひ、はあ、あ、あ♡

15 せー♡、あー、せ…♡」

16

17 ///あなた 「せー、眞理恵めに)めいめい♡」

18 輪めにルイちゃんの尻を握る。

19

20 ルイちゃん 「ふた…♡ あー、ゆいふ、やわらこ…♡」

21 へへ、クンが…。せー やわらこ、やわらこ…♡、

22 ぐ、ぐ、ぐー、やわらこ…♡ あー、へへ」

23

24 ///あなた ルイちゃんの乳首を舐める。

25

26 ダマ'く①

1 レイモンド「や、なめるな、あ、おれの、だえき、なめといつするな…。」
2 んん、おひいのかくら、なめたつて、なんもでないからあ、
3 わゆうわゆうしないわ…。はう、んんう。」

- 4
- 5 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 6
- 7 レイヤンダ「あ、なに…。」
- 8
- 9 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 10
- 11 レイヤンダ「はい、リボンが…。リボンがは、あ、あい、あい…。」
- 12
- 13 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 14
- 15 レイヤンダ「あ、あう、やめれ、ほんとにやがくなつちやつ、これ以上はあ、
16 はう、はひゅ、ああ、ん、ああ、あああ、
17 やのあ、あわい、あひ、おねがい、わ、
18 えぐい、えあああ…。」
- 19
- 20 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 21
- 22 ダマク⑧
- 23 レイヤンダ「ん、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、
24 はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、
25 あ、…。う、うや、だ、おれ、いつた…？
26 わ、わ、ちがう…。いんなの、いんなの、おれは、認めない…。」

- 1 ///あなた、レイモンドに自分の下半身を確認せよといする。
- 2 レイモンド「あだ、いやだー、俺は見ない！」
- 3 かくじで、しゃせいしたのなんか、見たくなー…」
- 4 ダマ^①
- 5 レイモンド「あだ、いやだー、俺は見ない！」
- 6 かくじで、しゃせいしたのなんか、見たくなー…」
- 7
- 8 ///あなた「仕方ないですね、では身体にわかるしかないドーム」
- 9
- 10 レイモンド「んふ、かんだに、わからせぬひー、ひつこ…。ひぐー？」
- 11 だめ、だえ、もうこつがい、なんて、おりへ、おりへ
- 12 あああ♡ ああ、ゆるしい、も、おかしくなね…」
- 13
- 14 ///あなた、レイモンドの懇願も聞かず、乳首を刺激し続ける。
- 15
- 16 レイモンド「ふあー、かくじで、またイグー、イッちや、おかしくなう、やあ♡
- 17 かりかりわれぬのも、なめられぬのも、せんぬやむいい♡
- 18 きみのここのいーだめえ、やああ♡
- 19 イー、イー、イー、イー、イー、イー♡」
- 20
- 21 ///レイモンド、再び射精する
- 22
- 23 レイモンド「あぐー…、はあー、はあー、はあー、はあー、はあー、はあー、
- 24 ばほー…、はあー、はあー、はあー…、あ、あ、あ、あ…」
- 25 【乳首責めで一度絶頂したレイモンド。あなたは、そんなうつ田の課題としてレイモンドに
- 26 《乳首責めでの絶頂を指示する》

- 1 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
2 「あなた「いやあ、110田の課題です」」
3
4 ルイサ「やだ、わ、課題は、いやだ。ふたつめなんが無理…」
5
6 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
7 「あなた、ルイサの会陰を刺激し始める。
8 ルイサ「わやつひ…な、なんに、そんな所、触つて、えいっよつて…」
9
10 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
11 「あなた「いいで余裕があるから。つかへとかば、射精せずに絶頂でもある」」
12 ルイサ「く…いやせこ、せきに絶頂…！」、それ、せきこんで…」
13
14 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
15 「あなた「せきくはあります。わくわくする気持ちが…」」
16 ルイサ「やだ、やだ…、やけもつね、や！」この来たる、
17 わい、おかしへたるからー、しゃ、しゃ、しゃ、やめのー。」
18
19 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
20 「あなたのルイサ。あなた、注射器でやのに媚薬を打ち込む。
21 **ダリ<⑧**
22 ルイサ「わ…、あ、いた、こ、また注射器…」
23 わり、しゃ、しゃあ、うたないれ、しゃあ…。」
24 はー、はー…、ぬ、からだ、あー、わーー！」
25
26 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
 あなた、注射器を放り投げ、会陰部を何度も繰り返し押し込む。

ダリル①

- 3 ルイサン「せへ、ルイ、ぐいぐいで、おしゃまなふれ…♡ あ♡
- 4 (控えめに)は、あう…。はあ、ん、んんー♡
- 5 んつ……あ。は、あ、あ♡ あ、う…? んつ…?」
- 6
- 7 ルイサン「(サローネ)なんだ…? 腹の奥がじわじわくすぐったい程度で、想像してこのよりも、ルイまで快感が激しくない…。
- 8 やりつきよつ気持ちいっしょいっのは、俺を脅すための嘘だつたのか…?」
- 9
- 10 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 11 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 12
- 13 ルイサン「ふ、など…。」
- 14
- 15 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 16
- 17 ルイサン「なつ? 別に物足りなやうな顔なんかしてないー!」
- 18
- 19 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 20
- 21 ルイサン「むつかし我慢しついで、なんなんだ!」
- 22 別に、そんなすうじ快感も望んでないし、物足りないなんて思つてない…
- 23 へあ♡ も、はなし、きけ、ばか…♡ あ、ううー…」
- 24
- 25 //////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////////
- 26

1 ダムく⑧

- 2 レイモンド「(口からだだ洩れてる感じ)あー、あー…。はあ、ハーハー♡
- 3 んひ、んうへ…♡ もう一ひと、ハーハー、あああ…♡
- 4 めいへ、めいへんばつか、レーリーハーハーハー…♡」
- 5
- 6 ///あなた「わらわらの虫やねうですね」
- 7
- 8 レイモンド「え、それわら、ハーハーハヤシが…」
- 9
- 10 ///あなた、乳首を同時に刺激し始める。
- 11 レイモンド、突然の快感に驚く。
- 12
- 13 レイモンド「あ、あ、あ、ハーハーハヤグハ、ふあああうひ♡
- 14 めつれ、ちぐらヒコヒショ、なんだ、こんなきわむこの…♡
- 15 んんなんうー、わわわわわわわわ、めうひ、めうひ、めうひ…♡
- 16
- 17 ///あなた、一旦手を止めぬ。
- 18
- 19 レイモンド「(顎戻れ)はあ…はあ…。」、れ…め…。
- 20 ひひゅ、う、だめ…ほんとに、ほんとにだめ…しゅ…
- 21
- 22 ///あなた無視して、再開する。
- 23
- 24 レイモンド「んんんんうわー、ひから、だめつていいじゃのだら、
- 25 だめ、だめ、だめ…♡、おねが、まつれ、おながのおねー、くふ、
- 26 むはふ、むけぢや、あ、あー♡」

1

／＼レイモンド、限界が近くなり、体の制御が聞かなくなり始める。

۲۷

レイモンド「（ほほ絶叫で）やらああ、だめ、だめなのきちゃう、きぢやう、う、う！」

あー、あーつ、あああああつ
！ !
♡
ああああああああつ
♡ ♡

／＼／レイモンド、ドライで絶頂した余韻に浸る。

タミへ⑧ 立ち位置そのまま耳元に近く

レインボーブック

力に、
にさ
、
にさ
、
にさ

卷之三

1

ANSWER

31

卷之三

卷之三

「あなた、最後の課題です。連續ドライでイつてください」

1
ダミー⑥

2
レイモンド「やあ、れんぞくでいくのなんか、しんじやう…。」

あ、ん?、んあ…
はふ、え、え、んああ?。あ、ん?

卷之三

「」ですわ

8

6

「半立地」がいい。それで、いい。

卷之三

51 // あなた「ダメです」

前立腺を内側から刺激する。 16

17

18

卷之三

レーニンに
叫がれるかでい感じでし

1

25

26 ハヤハヤ「え、へ、あぐっ、あ、あ、いだい、いだいの、わわわわ、

1 たたかれうの♡ もわむこ♡ あ、お…♡。うひああ…♡

2 ふめ、も、おれ、おかじい、おかじくなつて、ぬ…♡」

3 //////////////////////////////////////////////////////////////////

4 //////////////////////////////////////////////////////////////////

5 前立腺責め、より激しくなる

6

7 レイヤンダ「ああ、も、おかしくな、わや、なんも、わかんない♡

8 やあやあ、すね♡ ふめ、イ、ぐ、まだ、イぐうう…♡

9 わあわわわわわ～♡

10

11 //////////////////////////////////////////////////////////////////

12

13 レイヤンダ「あああああん♡ ふめ、イつたばつか、なのに…♡

14 ひやぐうう、しめ、しんじゅう、しめ♡

15 イ、ぐ、ずいぶ、イヒドゥ、

16 あつあつあ♡ あーーー♡ んひああ、えう、んんんーー。

17 お、あぐうああああ～～～～♡

18

19 レイヤンダ「うら、せ、のげほ、げほ…はく…あ、ああ、

20 はあつ、はあつ、ああ…ー」

21

22

23 //////////////////////////////////////////////////////////////////

24

25 【複数回ドライでイかれてしまひ、心身ともに限界を迎えたレイヤンダ。

26 〇こに泣きじやぐながい、教育係に許しを請う】

27

1

2
レイモンド「ああ、ひ、ひう、ああんつ、は、は…(息震える)…わい、う…」

卷之三

THE JOURNAL OF CLIMATE

○

レイモン云々あるじて…えうもためためうえ

(ナムナム 江のをなはれかくたへくを)

۲۰

14
... ပုဂ္ဂန်များ၊ အောင်လှိုင်များ၊ အောင်လွှာများ၊ အောင်လွှာများ၊

15 ら、おまえだつて、おれのこど、ばかこしてるんだ。

だから、おれに、「なん」と、するんだ…」

18 // あなた「馬鹿にはしていません」

レイモンド「……うそだ。ははうえが、死んで、から、だれも、おれのことを、

ちゃんとみてくれない…つえう。みんな…う、みんな

おれの血筋のことばかり。
おれたつてこの国のためには

いのちはい
免強して
とりそくしたのは

あにうえばつかり、血筋がいい、あにうえばつかりみんな…」

1 ///あなた「私は、あなたの教育係として、あなたは優秀な方だと思つてこまやん」

2

3 レイモンド「そんなの、口だけだ…。おれのハム、詰めてくれるやつなんか、

4 みんな皇族とのつながりがほしいだけだ…。」

5

6 ///あなた「私は皇族との繋がりになんか、全く興味がありません」

7

8 ダッシュ① 正面に向か直り

9 レイモンド「なんだって…？ そんなの、興味ない…？ ジやあ、何に興味を…？」

10

11 ///あなた「レイヤー様自身に興味があります」

12

13 レイモンド「…おれ自身… ぐすり…えいへーで、そんなりしを…。」

14

15 ///あなた「あなたに興味があるから。

16 あなたの未来のために、本気で反省してほしいから。」

17

18 レイモンド「…ほんとで、反省してほしい、から?

19 おれの、みらいのため…に…。」

20

21 ///あなた、うなづく。

22

23 レイモンド「なあ、じやあ、お前はおれを見てくれるのか？

24 血筋も悪ければ皇室内に誰も味方なんていないおれを、

25 ちゃんと、一人の人間として受け止めてくれるのか…。」

26

- 1 ///あなた「わからんです」
- 2
- 3 レイヤン「せんじ~」
- 4
- 5 ///あなた「本当にす。私が、ずっとおなじいます」
- 6
- 7 レイヤン「…つやじやない。 ずっと、なぜこいつくれる。
- 8 せんじ、おれの「」や、 やくさうつかあしておる。」
- 9
- 10 ///あなた「嘘ばりおかせん」
- 11
- 12 レイヤン「…いやあ、 やくはし。それで、 キス、 し…」
- 13
- 14 ///あなた「私の前に私じも締束してくだらこまつか~」
- 15
- 16 レイヤン「おおふか、 おしゃべ…。 いんな…。」
- 17
- 18 ///あなた「今までの行動をきちんと悔い改め、 使用人には一度も冷たくしないでくだら
- 19 セ
- 20
- 21 レイヤン「…ん、 わかった。 おしゃべ、 おねえ…。
- 22 わい、 使用人たちには、 つめたくしない…。 ちゃんと、 みんなに、 あやめ…」
- 23
- 24 ///あなた、 レイヤンにキスする。
- 25
- 26 レイヤン「んう…。 んへ、 ん…。う…。△
- 27 △は、 あ…あ、 もひん、 もひん、 キスして。 こうこうひいて、 して…」

- 1 ///////////////////////////////////////////////////////////////////あなた「では、私や使用人たちにきちんとバ)みんなやいを語えたからしてあげましょバ」
- 2 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
- 3 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
- 4 **ダリ'く③**
- 5 ルイサハニ「バ)みんなが、バ)みんなが、ううううう、
- 6 こいぱこ語バ)みんなやこ...。
- 7 細れ、こいぱこ、バ)みんなやこ、やわぬよ。
- 8 だから、はやくキス、レヒ...♡♡」
- 9 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
- 10 ///////////////////////////////////////////////////////////////////あなた、再びルイサハニにキスする。
- 11 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
- 12 **ダリ'く①**
- 13 ルイサハニ「ふむうう...ん、ん、ん、う、うああ...ん、は、はあ
- 14 ハ)めんなしゃ、あ、バ)めんなやこ、わぬこりんこい、
- 15 ハ)めんなや、こ、あ!？」
- 16 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
- 17 ///////////////////////////////////////////////////////////////////あなた「こいぱい謝れたバ)褒美をあげます」
- 18 ◇陰と前立腺を一度に責め始める。
- 19 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
- 20 ルイサハニ「ああああ、またやもぢいいの、こいぱい
- 21 やもぢい、あ、あ、ぜんりつせんじ、えいん、こいぱんば、のめえの
- 22 ハ)めんなしゃ、わるこいしたのにこいぱもぢくなつて、バ)みんなやこ
- 23 あ、やいし、やいし、あんん、あ、ああ
- 24 あは、あえついついついつ、イ、ぐうう、ぐうう、
- 25 ///////////////////////////////////////////////////////////////////
- 26 ///////////////////////////////////////////////////////////////////ルイサハニ、絶頂する。

ダミへ②から耳元に向かつて

3
レイモンド「は、はあ、あ、はあつ、はあつ、はあつ、はあつ、

ねえ、
ねえつ
おねがい、きいてつ…

6
あなた「なんですか？」

7

レイモンド「は、あう、ちくび、も、さわって…」

6

あなた「手が足りないので」自分でどうぞ

1

12

ノイモノド「（）ぶんで弄るの…？」
「、」

4

15

6

「え、お、あん、うづ、でーす…」

8

三 あはい、前立腺と会陰の刺激を再開する。

0

ノイモノド「あうお…」も、ちくびも、おしりも、ぜんぶきもちいい

22

ごめんなしゃ、あ、あ、あ、ああああ!!

「えんな、が、あ
あへあへ、おおあへ

25
あや、おやじにならやつ、くるつしやせしないれ、いつちやう

あん、も、だめ、になつちや、う
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ
あー、つ

1

2
あなた「ダメなあなたでも、全部愛して受け止めてあげますよ」

۵۷

レイモンド「んっ
ダメな、おれも、あいしてえつ

おちんちん、つかいものにならなくとも、いいこいいこしてつ
心

あ、らめ、ごめんなさ、も、おれ、だめええ～あえうううううう～～つ

イヅ、イヅ、イヅ、イヅ、イヅ、イヅ、イヅ、イヅ、

8

レイモンドは絶頂し、そのまま意識を手離す。

10

ダミへ②から耳元に向かつて

レイモンド「(土の上で) あぐ、あええ
あー、あー…
あううー」

あーっ、あーっ、あーっ、あーっ、あーっ、あーっ、あーっ…♡」

4

9

ダミへ②から耳元に向かつて

レイモンド「(上の空で) あー、あええ
あー、あー… あううー」

ああーっ、はあーっ、はあーっ、はあーっ、はあーっ、はあーっ…♡」

■トワ シク7

- 1
2
3 【新しい教育係が来てから数ヶ月。レイモンドの素行も落ち着き、使用人にも優しく接する
4 もうになった。皇室には平和が訪れる】
5
6 //レイモンドに呼び出されたあなた。ドアをノックしようと中からの話し声が聞こ
7 え。
8
9 **ダマク⑩**
10 レイモンド「…ありがとうございます、前に頼んでいたものを持ってきてくれたんだな。
11 …何? いや、気にしないでくれ。失敗は誰にでもあるものだから。
12 それに私もそんな程度のことで怒つたりしないよ。
13 …ふふ。また、何かあつたらい頼む」
14
15 //部屋から執事が出て行く。あなた、そのまま部屋に入室。
16
17 **ダマク⑨**
18 レイモンド「来たのか。聞いたぞ、またメイドや料理人たちの仕事を
19 手伝つていただいな。先日は、ついに大臣の雑務まで手伝つたとか…。
20 優秀なのはいいが、体を壊されでは困る」
21
22 //レイモンド、あなたの側に近づく。
23
24 **ダマク⑧**
25 レイモンド「お前はやつし、俺の傍にいてくれなくては。
26 …お前が、俺をえてくれたんだから。

1 前が、俺を受け止める一幅いたんだから。

2 (声を潜めて)…俺を、教育してくれるんだわ? もう

3 //あなた「やれだらけじゃよ、」

4 //あなた「やれだらけじゃよ、」

5

6 レイヤーナ「やればいいから…やめ、やらない幅ねないでくれ。

7 いい子にするか…」

8

9 //あなた、指を差し出す。

10 レイヤーナ躊躇なく呟く。

11

12 レイヤーナ「んむい、んい、じゅい、やうん…。あ、くっ、あはえ…。」

13 んんむう、はや、んじゅ、んんん…。」

14

15 //あなた、指を口から舌を抜き、レイモンズを撫でる。

16

17 ダマ^⑧

18 レイヤーナ「あ、俺、えのこ、ゆう、このまま、しゃぶしゃぶ、

19 こっそりこっそり…。」

20

21 //レイヤーナ、あなたに抱かれへ。

22

23 ダマ^⑨おひ耳に回がつ

24 レイヤーナ「あ、ゆう、ゆばここ。」

25 ゆうふ、おれの、ゆう、おのやくわやうつ、あ…。」

26

■トマ シク8

- 1
2
3
4 メイド「あい、教育係さんお疲れ様」
5
6 **ダリル⑯**
7 メイド「あなたが来てくれてから、本当に助かってねわ。
8 雑務もよく手伝ってくれるし、レイモンド様の態度も
　いいとも良くなられたようだし。でも！あんまり無理しそやダメよ。」
9
10 あいつちり休養を取る！」
11
12 //メイド、あなたが手に持つてこの懐中時計に気付く。
13
14 メイド「ふうふう…その懐中時計、とっても素敵ねえ。
15 素朴だけれど、それがかえって上品だわ。
16 前に持っていたのは、壊れちゃったの…うんうん…うんうん…
17 あら、あれってあなたの物じやなかつたの！『ミ捨て場から拾つた物…？
18 なんだ、大事そうに持つてたから、てっきりあなたのものだと…。
19 早さうしゃつしたわ。私、リリのふうふうして疲れてるのか、
　ほんないふばっかりなのよね…はあ…」
20
21
22 //メイド、あなたの肩を叩く
23
24 メイド「(声を潜め)ね、メイド長にバレないよつと、一人ドリハヤツお茶でもしない?
25 料理長が作ってくれた美味しいクッキーがあるの。
26 ああ、レイモンド様に差し上げてもいいかもね。

今の方なら、きっと素直に受け取ってくれるでしょう？
(明るい声で)ほらほら、行きましょー！」